

## 安全データシート

作成日 2019年10月24日  
管理コード 19Oct07-002

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	水性塗料用クリーナー
供給者の会社名	ネクスト株式会社
住所	愛知県あま市七宝町鯉橋4-36
電話番号	052-559-2115
FAX番号	052-559-2116
メールアドレス	info@next-co.co.jp
推奨用途及び使用上の制限	水性塗料を使用した機械の洗浄用液

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体 区分外 自然発火性液体 区分外
健康有害性	急性毒性(経口) 区分外 急性毒性(経皮) 区分外 急性毒性(吸入:蒸気) 区分3 皮膚腐食性及び刺激性 区分2 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2A 生殖毒性 区分2 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分1(呼吸器、血液系、腎臓、肝臓) 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(麻酔作用) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(血液系)

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

## GHSラベル要素

## 絵表示



注意喚起語  
危険有害性情報

危険  
吸入すると有毒  
皮膚刺激  
強い眼刺激  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い  
呼吸器、血液系、腎臓、肝臓の障害  
眠気又はめまいのおそれ  
長期にわたる、又は反復ばく露による血液系の障害

注意書き  
安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。  
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。  
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。  
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。  
取扱い後は手をよく洗うこと。  
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置	<p>屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。</p> <p>吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</p> <p>眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</p> <p>ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。</p> <p>気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。</p> <p>眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。 医師に連絡すること。</p>
保管	<p>容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 施錠して保管すること。</p>
廃棄	<p>内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。</p>

## 3. 組成及び成分情報

## 化学物質・混合物の区別

## 混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
エチレングリコールモノブチルエーテル	10～25%	C4H9OCH 2CH2OH	(2)-407	既存	111-76-2
水	74～89%	H2O	対象外(天然物)	既存	7732-18-5
非危険有害性成分	1%	特定できない	不明	不明	---

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル(政令番号:79)(20%～30%)

## 4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。  
ばく露又はその懸念がある場合は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

皮膚を速やかに洗浄すること。

多量の水と石鹼で洗うこと。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。  
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

ばく露又はその懸念がある場合は、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	<p>眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。</p> <p>口をすすぐこと。</p> <p>ばく露又はその懸念がある場合は、医師の診断、手当てを受けること。</p> <p>気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。</p>
5. 火災時の措置	
消火剤	粉末消火剤、二酸化炭素、水噴霧、耐アルコール性泡消火剤。
使ってはならない消火剤 特有の危険有害性	<p>棒状注水。</p> <p>これらの物質のあるものは燃えるが、容易に発火するものはない。</p> <p>熱で容器が爆発するおそれがある。</p> <p>吸入すると有害となるおそれがある。</p> <p>火災時に刺激性、腐食性及び／又は毒性のガスを発生するおそれがある。</p>
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護	<p>消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。</p> <p>空気式呼吸器(SCBA)を着用する。</p> <p>防火服は火災時に限られた防護をするに過ぎない。</p>
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	<p>漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。</p> <p>直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。</p> <p>関係者以外は近づけない。</p> <p>風上に留まる。</p> <p>作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避け低地から離れる。</p> <p>漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。</p> <p>立ち入る前に、密閉された場所を換気する。</p>
環境に対する注意事項	<p>河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。</p> <p>環境中に放出してはならない。</p> <p>排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。</p>
封じ込め及び浄化の方法・機材	<p>少量の場合、砂あるいは不燃性吸収材を用いて集め、容器に入れて後で廃棄する。</p> <p>大量の場合、液体の前方にせきを作り、後で廃棄する。</p> <p>危険でなければ漏れを止める。</p>
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項	使用前に使用説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。  
 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。  
 接触、吸入又は飲み込まないこと。  
 眼に入れないこと。  
 空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。  
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。  
 『10. 安定性及び反応性』を参照。  
 取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

接触回避  
衛生対策

安全な保管条件

保管場所には本製品を貯蔵し又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。  
 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。禁煙。  
 酸化剤から離して保管する。  
 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。  
 施錠して保管すること。  
 包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

安全な容器包装材料

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会 (2018年版)	ACGIH (2017年版)
エチレングリコールモノブチルエーテル	25ppm	【最大許容濃度】 20ppm (97mg/m <sup>3</sup> )(皮)	TWA 20ppm
非危険有害性成分	未設定	未設定	未設定

設備対策

本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。  
 完全密閉系及び完全密閉装置でのみ取り扱うこと。  
 工程の密閉化、局所排気その他の設備対策を使用する。  
 高熱取扱いで、工程で蒸気、ヒューム、ミストが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具  
手の保護具  
眼の保護具

送気マスク又は有機ガス用防毒マスクを着用すること。  
 保護手袋を着用すること。  
 眼の保護具を着用すること。  
 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具

顔面用の保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態  
形状  
色

液体  
水溶液  
青色  
溶剤臭  
データなし  
10.5  
< 0°C

臭い  
臭いのしきい(閾)値  
pH  
融点・凝固点

沸点、初留点及び沸騰範囲	< 100℃
引火点	データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	データなし
燃焼性(固体、気体)	適用されない
燃焼又は爆発範囲	データなし
	下限
	上限
蒸気圧	データなし
蒸気密度(空気=1)	データなし
比重(密度)	0.99
溶解度	水に易溶
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度(粘性率)	データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	通常の条件では危険有害な反応は起こらない。
化学的安定性	通常の保管および取扱いの条件においては安定である。
危険有害反応可能性	過剰な圧力又は熱を放出する危険有害な反応又は重合は起こらない。
避けるべき条件	熱、火花、裸火などの着火源。
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素が発生する。

## 11. 有害性情報

急性毒性	経口	成分の急性毒性値は、エチレングリコールモノブチルエーテル 1746 mg/kg、水 >100000mg/kgであり、混合物の急性毒性推定値が6640mg/kgのため、GHS:区分外に該当する。(混合物の1%は毒性が未知の成分からなる。)
	経皮	成分の急性毒性値は、エチレングリコールモノブチルエーテル 567 mg/kg、水 >100000mg/kgであり、混合物の急性毒性推定値が2230mg/kgのため、GHS:区分外に該当する。(混合物の1%は毒性が未知の成分からなる。)
	吸入(蒸気)	成分の急性毒性値は、エチレングリコールモノブチルエーテル 450ppm、水 >1000000ppmであり、混合物の急性毒性推定値が1776ppmのため、GHS:区分3「吸入すると有毒」に該当する。(混合物の1%は毒性が未知の成分からなる。)
皮膚腐食性及び刺激性	吸入(ミスト)	データがなく分類できない。 エチレングリコールモノブチルエーテルが区分2で、区分2の成分濃度が濃度限界(10%)以上のため、GHS:区分2「皮膚刺激」に該当する。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		エチレングリコールモノブチルエーテルが区分2Aで、区分2Aの成分濃度が濃度限界(10%)以上のため、GHS:区分2A「強い眼刺激」に該当する。
呼吸器感作性		データがなく分類できない。
皮膚感作性		データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性		データがなく分類できない。
発がん性		データがなく分類できない。

生殖毒性		エチレングリコールモノブチルエーテルが区分2で濃度限界(3.0%)以上のため、GHS:区分2「生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い」に該当する。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		成分濃度が濃度限界(10.0%)以上の区分1の成分はエチレングリコールモノブチルエーテル(呼吸器、血液系、腎臓、肝臓)であるため、GHS:区分1(呼吸器、血液系、腎臓、肝臓)「呼吸器、血液系、腎臓、肝臓の障害」に該当する。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		エチレングリコールモノブチルエーテルが区分3(麻酔作用)で、成分濃度が濃度限界(20%)以上のため、GHS:区分3(麻酔作用)「眠気又はめまいのおそれ」に該当する。
吸引性呼吸器有害性		成分濃度が濃度限界(10.0%)以上の区分1の成分はエチレングリコールモノブチルエーテル(血液系)であるため、GHS:区分1(血液系)「長年にわたる又は反復ばく露による血液系の障害」に該当する。
12. 環境影響情報		データがなく分類できない。
水生環境有害性(急性)		データ不足のため分類できない。
水生環境有害性(長期間)		データがなく分類できない。
オゾン層への有害性		モントリオール議定書の附属書に列記されたオゾン層破壊物質を含まないため分類されない。
13. 廃棄上の注意		
残余廃棄物		廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装		廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意		
国際規則	Regulatory Information by Sea	Not dangerous goods
	Regulatory Information by Air	Not dangerous goods
国内規制	陸上規制	非該当
	海上規制情報	非危険物
	航空規制情報	非危険物
特別の安全対策		輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
緊急時応急措置指針番号		重量物を上積みしない。 なし

## 15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)(エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル)

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)(エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル)

第2種有機溶剤等(施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号)(エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル)

化審法

優先評価化学物質(法第2条第5項)(2-ブトキシエタノール)

## 16. その他の情報

連絡先

ネクスト株式会社

参考文献

NITE GHS分類公表データ

EU CLP Regulation, AnnexVI

RTECS

ECHA C&amp;L Inventory Database

B-TEC GmbHのSDS(改訂日:21.11.2017)

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。